

理念
私たちは、人道・博愛の赤十字精神のもとに、子どもたちの最善の利益を守り、健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった保育看護を提供します。

心のお引っ越し …築立っていく子ども達…

乳児院から築立ち新しい施設で生活するための第一歩として担当職員と施設訪問を行っています。

はじめての場所や人に緊張しやすいIちゃんは、訪問を重ねるごとに笑顔が増えていきました。新しい担当さんと一緒にままごと遊びをするなど心を開いていく様子が見られました。乳児院と同じ『ひよこマーク』が付いたおもちゃ箱やダンスに、Iちゃんは「Iのひよこがあった」とにっこり。新しい施設でも自分の居場所を見つけたようです。二人の担当さんに見守られ、同じ空間で過ごしながIちゃん自身で「心のお引っ越し」をしているようでした。

生後間もなくから育てた職員はIちゃんの心に『愛された記憶』をしっかりと根付かせました。新しい担当さんへとバトンタッチされても、その思いは途切れることなく繋がるように願っています。

お別れの時、新しい担当さんに抱っこされて「バイバイ」と手を振り、涙顔で見つめていたIちゃん。

小さくても自分の道をしっかりと歩み始めたように見えました。



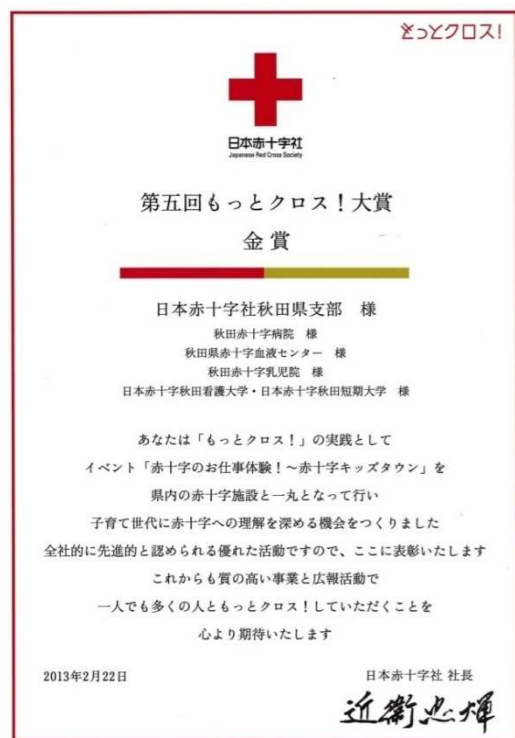
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

広報誌 第29号

よちよちちゃん

もっとクロス大賞 “金賞” 受賞



みんなの街できあがり！

～段ボールをつなげて、街を作ったよ～

線路や道路がプリントされたクラフトテープを使って、お部屋いっぱい“みんなの街”が広がりました。大人も一緒になって夢中です。



トンネルも作ろうね！

編集後記

再ブームになっている本がある。3・11以降私たちは「人生とは何か、生きる意味とは・・・」を考えてしまう。それに応えてくれるヴィクトール・フランクル著「夜と霧」である。運命とは天の賜物、その人にだけ与えられた贈り物である。どんな人生にも意味がある。目的意識を持たば身の回りに幸せがある。とわが国では、意志を貫き人生を生き抜いた女性、ハンサムウーマンの新島八重がもてはやされている。春である。何かに歩みを進める格好の季節である。

(石山)



今年度も開催！！

赤十字キッズタウン2013

お仕事体験～保育士や看護師に变身！～

★日時：平成25年5月19日（日）

10：00～16：00

★場所：秋田拠点センターアルヴェ1階

「きらめき広場」

■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

ひよこ組

ミルクをちゅぱちゅぱ吸っていた赤ちゃん達は、部屋中を移動できるまで成長しました。

10カ月のRちゃん。ハイハイは上手で、あんよはまだまだ先のことだと思っていたある日・・・「おいで～」と声をかけると、すーと立ち。「すごーい！立った、立った」次の瞬間、足が一步前に。「歩いた～」“初めの一步”に感動しまくりです。

“初めての瞬間”に立ち会い、子どもと共に喜ぶこと。それが、こんなにうれしいことだと知りました。毎日が感動の嵐のひよこ組。「次は何を見せてくれるかな？」 (赤次)



新ひよこ組「はいはい探検隊 Let's go!!」

ばんび組

昨年の春、保育者の注意を引こうと次から次へといたずらばかりのSくん。お昼寝が嫌で、騒いでは叱られていたRくん。すぐに落ち込んでなかなか立ち直れなかったHくん。みんな個性豊かな子どもたちですが、わんぱくすぎる彼らのために職員同士何度も話し合いをしました。おかげさまで結束力は固く、チーム全体で子どもも大人も成長著しい1年でした。

“人生の始まり”を一緒に過ごしたあの日々。思い出いっぱいのアルバムを整理しながら、巣立っていく子どもたちにとって、このアルバムが一生の宝物になることを願っています。(鈴木(い))



「ほら、こんなに小さかったんだよ(^-^)」

春、多くの子どもたちが巣立って行きました。今月号は一昨年を振り返り、子どもたちの成長の様子やクラス担当の思いを綴りました。



保育室ダイアリー

新年度からのクラス紹介もあるよ！子どもたちの小さな成長を見つけてお伝えしていきます。

ぱんだ組

1～3歳までの個性豊かで元気一杯、活動的な子ども達と一緒に二年目のぱんだ組はスタートしました。「一緒に遊ぼう」「おもちゃ貸してちょうだい」「やだよ」「ちょっと待っててね」・・・思いのすべてが即行動になってしまい傷の絶えない頃もありました。それぞれの気持ちを受け止めながら、どうしたら良いかを繰り返し伝え続けた日々。お話が出来るようになり、子ども同士でトラブルを解決している姿に成長を感じています。

一日に何度も人差し指を交差させて「ダメダメ」と繰り返し言われていたRくんも大きく成長して巣立っていきました。(進藤)



新ぱんだ組です。新しいメンバーでちょっとドキドキ。どんな発見があるかな！

ことり組

5人でスタートしたことり組。「安心して自分を表現して欲しい」という思いで、子どもたちと向き合ってきました。

「このボタンは何か？」「何が入っているのかな？」と探索活動に熱心だった子どもたち。あれから1年・・・思い思いに遊んでいる姿にも“大きくなったなあ”と感じています。

年度始めは、やっとアンヨできるくらいだったSちゃん。今は、アンパンマンやゾウさんのお歌をメドレーで熱唱しています。

ことり組のみんな、楽しい1年をありがとう！これからの成長も楽しみにしているよ。

(鈴木(真))



元気パワー全開の新ことり組です！今年は畑で何を収穫しようかしら。